

12/3 小中一貫三戸学園 10 周年記念式典

開校 10 周年の節目を祝う

小中一貫三戸学園（小林孝史学園長）の 10 周年記念式典が三戸小中学校第 2 体育館で行われ、三戸小・中学校と斗川小学校の児童生徒 524 人と関係者が開校の節目を祝いました。

小中一貫三戸学園は、施設一体型の三戸小・中学校と、連携型の斗川小学校によって平成 25 年度に開校し、今年度開校から 10 年目を迎えました。ふるさと三戸に誇りを持つことなどを目的とした町独自教科「立志科」や小学校 1 年生から学ぶ英語など、特徴的な学びが実践されています。

式典で小林学園長は「これまで先輩たちが築いてきた伝統と歴史を大切に、これからも夢に向かって学び続けてほしい」と生徒たちに呼びかけました。

在校生を代表し、越後心太さん（三戸中 3 年）は「9 年間、三戸学園で育った生徒として、この校舎で学んだことは忘れません」とあいさつしました。その後、全校児童生徒による「いのちの歌」の合唱が行われました。



10 周年の節目を祝う参加者



たくさん買ってくれました！

11/19 農業小学校販売会

みんなで作った農作物 たくさん売れたよ！

子どもたちが食や農業について学ぶさんのへ農業小学校（栗生正志校長）による農作物の販売会が町民体育館前で行われました。子どもたちは、自分たちが育てて収穫したもち米やリンゴ、野菜などを自ら販売。販売開始前から多くの町民が会場に足を運び、用意された農作物が完売する大盛況ぶりでした。販売を体験した子どもたちは「みんなで力を合わせて作ったお米やリンゴを買ってもらえてうれしかった」と話し、農業を通じて少したくましくなったようです。

11/22 6 町村と青森テレビが SDGs 推進協定を締結

SDGs 普及啓発のために協力

三戸郡 6 町村（三戸町、五戸町、田子町、南部町、階上町、新郷村）と㈱青森テレビ（小山内悟代表取締役社長）が SDGs 推進に関するパートナーシップ協定締結式を、五戸ひばり野スポーツ交流センターで行いました。今回の協定内容は、6 町村と同社が連携

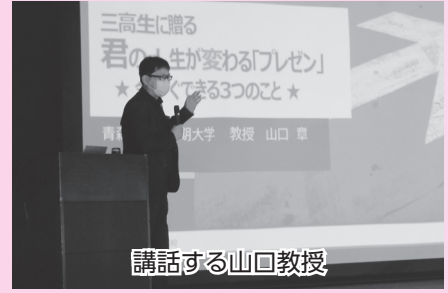
し、SDGs の推進を中心とした地方創生を実現するとともに、地域住民へわかりやすく SDGs を発信することで、地域への普及啓発を図りながら、国際理念に基づいた地域社会の持続的発展に寄与するものです。三戸郡町村会長の松尾和彦三戸町長は「今回の協定は、さまざまな地域課題を解決し、安心で安全なまちづくりに役立つものだ」と確信しています。各自治体で積極的に協力していきたい」と話しました。小山内社長は「各町村長が住民の先頭に立ち、地元で情報を発信していただきたい。災害時は、避難所運営などを手助けしていきます」と強調しました。



協力し、SDGs を推進します

## 11/18 法人会三戸支部が三戸高校でセミナー開催 プレゼン力向上の手法を学ぶ

八戸法人会三戸支部（石亀和郎支部長）は、青森明の星短期大学の山口章教授を講師として招き、三戸高等学校の生徒と法人会員に向けてプレゼン力向上セミナーを三戸高等学校講堂で開催しました。山口教授は「君の人生が変わるプレゼン～いますぐできる3つのこと」と題し、プレゼンを劇的に変える3つ「暗記・ジェスチャー・ブリッジ（次のスライドの前ぶり）」が重要だと参加者に伝えました。参加者は熱心にメモを取りながら、プレゼン力向上の手法を学びました。



講話する山口教授



(左から) 松尾町長、管野さん

## 11/22 管野さんが寄付金を寄贈

### 城山公園に恩返し of 気持ちを込めて

国史跡三戸城跡城山公園で行われたカーミーティング in 三戸の主催者である管野雅浩さんが、開催時に募った寄付金を寄贈するため、役場を訪れました。管野さんは「使わせていただいた城山公園に恩返しをしたいと思い、寄付を募りました。清掃・維持活動に活用していただきたい」と話し、松尾和彦町長に目録を手渡しました。松尾町長は「このような寄付をいただき感謝しています。ありがたく環境整備に活用させていただく」と話しました。

## 11/23 八戸学院大学がどんぐりの家でワークショップ 人とふれ合う大切さを実感

特定非営利活動法人どんぐりの家（梅田悦子理事長）の放課後デイサービスで、利用者の児童生徒が貼り絵制作のワークショップを行いました。このワークショップは、八戸学院大学の障害者による社会参画の促進を進める事業として、同大学人間健康学科の佐々木綾奈さん（3年）が発案。佐々木さんが所属するゼミの学生3人とともに、八戸市のまちづくり助成金を受けて活動を行いました。佐々木さんは「ワークショップを通じて子どもたちと良い関係を築くことができ、会ってふれ合う大切さを実感しました。この関係性が詰まった作品を見てほしい」と話しました。貼り絵制作に携わった澤口爽太さんは「初めて貼り絵をやってみて、絵を表現するのが大変だったけれど楽しかったです」と感想を話しました。完成した貼り絵は12月中旬、八戸市の「マチニワ」と「はっち」に展示されました。



貼り絵を制作する皆さん



(左から) 松尾町長、加藤支社長

## 11/24 第一生命と町が包括連携協定を締結

### 住みよいまちづくりのため力を合わせる

第一生命保険(株)と町は、健康増進や子育て支援、高齢者支援など9項目について協働による活動を推進するため包括連携協定を締結しました。役場で行われた協定締結式では、青森支社の加藤秀俊支社長と松尾和彦町長が協定書を取り交わしました。加藤支社長は「三戸町が掲げている『みんなでちからをあわせる』というキーワードから、私たちも力を合わせて町の課題解決に協力していきたい」とあいさつしました。松尾町長は「農林商工業や教育・文化の振興、健康のまちづくりなどの面で協力し、住みよいまちづくりを進めていきたい」と話しました。